

Mac における Thunderbird のメールの移行

1. はじめに

ここでは、旧メールサーバに蓄積されているメールを手元のローカルフォルダにコピーしておき、必要な時に参照・返信する方法と旧メールサーバに蓄積されているメッセージを新メールサーバに移動／コピーし、これまで通り利用する方法について説明します。

前者の方法は簡単ですが、後者の新メールサーバにメッセージを移す方法では色々と注意すべき事項がありますので、説明をよく読んで、自分の使い方に合わせて、どちらの方法を選ぶか判断してください。

2. 旧メールサーバのメッセージを手元のパソコンのローカルフォルダに保存する方法

ここではフォルダに蓄積されているメッセージをまとめてコピーする方法を説明します。

図に示すように、「Old Primary」という旧メールサーバアカウントの「授業関連」というフォルダを手元のパソコンの「ローカルフォルダ」にドラッグします。これでフォルダと中身を丸ごとコピーできます。「Old Primary」というアカウントの「授業関連」フォルダが不要であれば、これを選択して「ファイル」→「フォルダを削除」で削除できます。



3. 新メールサーバに保存してこれまで通り参照・返信する方法

以下の説明で、Thunderbird の旧メールアカウントを Old、新メールアカウントを New と呼びます。Old の特定のフォルダを指す場合には Original、New の特定のフォルダを指す場合には Target と呼びます。

(a) メッセージの移動／コピー

1) New に Target (ここでは学会関係) のフォルダを作ります。



① New を選択する。

② 「ファイル」→「新規作成」→「フォルダ



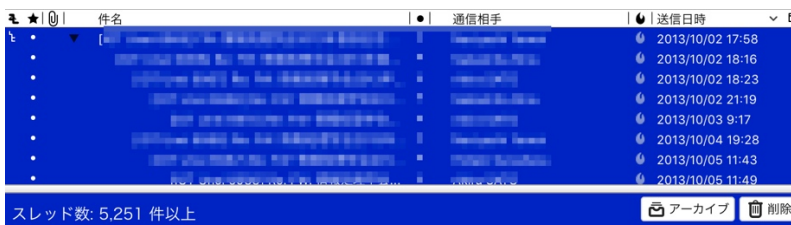
③フォルダ名を指定する。



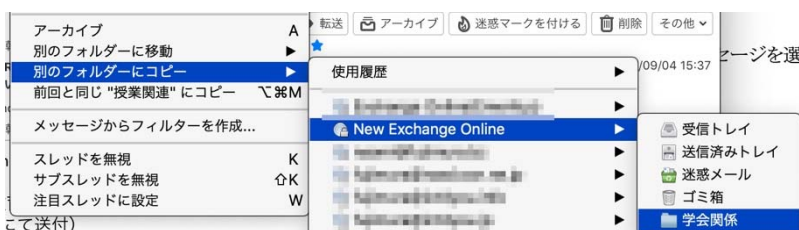
④NewにTarget（学会関係）ができる。

2) OldのOriginal（ここでは学会関係）を選択し、メニューの「表示」→「並べ替え」→「非スレッド」あるいは「表示」→「スレッド」→「すべてのスレッドを広げる」のどちらかで、全てのメッセージをたたみ込まない状態にします。

3) メニューから「編集」→「選択」→「すべて」として、全てのメッセージを選択し、反転表示にします。



4) メニューから「メッセージ」→「別のフォルダーにコピー」とし、保存先のローカルフォルダを選択します。移動する場合には「別のフォルダーに移動」を選択します。



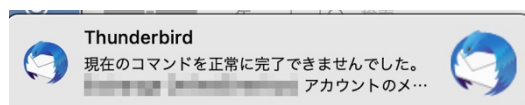
5) 移動/コピーが終了したら、OriginalとTargetのメッセージ件数を比較して、正常に完了したことを確認します。Oldのメールはコピーした場合には残っています。移動の場合には移動が完了するとOldのメッセージは削除されます。もしも正常に操作が完了していない場合（反転した一覧がそのまま残っている）には、後述の(b)の説明を参考にして、少しずつ移動/コピーを行うなど、工夫してください。

Newに保存したいOldの全てのフォルダに対して、1) から 5) を繰り返してください。

(b) メッセージを新メールサーバへ移動/コピーする際の注意事項

(1) 処理の中断

a) メッセージが文字コード“ISO-2022-JP-2”で構成されていると Exchange Online では受け付けないので、必ず移動/コピーが異常終了します（個人的には約7万5千通のメッセージに5件ほどありました。）。また新メールサーバの負荷や個人のメールの操作状況などの影響で、処理が中断することがあります。その際に次のようなエラーのポップアップが表示されますが、短時間しか表示されないの
で、気がつかないことがあります。



異常終了で中断した場合には一度に全部ではなく、少しずつ移動/コピーを行なって問題のメッセージを特定する必要があります。ISO-2022-JP-2のメッセージは何度やっても確実に異常終了するので特定できますが、その他の場合にはメッセージを少しずつ移動/コピーをしていくと、最終的には全部移動/コピーできる場合もあり、原因は不明です。

b) 移動やコピーの対象数が多いと時間がかかります。移動の処理が正常終了すると、移動されたOriginalのメッセージは削除されるので、移動処理が正常終了したことがわかります。しかしながらコピーの場合には元のメッセージは残ったままになるため、画面を継続して注視していないと、コピー処理が正常終了したか、異常終了したかの判断が困難です。

c) 移動やコピーを何度も行うとTargetに同じメッセージが複数たまります。したがって、異常終了して何度もやり直した場合には“Remove Duplicate Message”というアドオンで複数溜まっているメッセージの整理が必要になります。“Remove Duplicate Message”というアドオンのインストール方法は後述します。

(2) 通信量と通信料

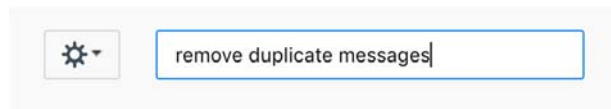
メッセージの移行では、手元のPCで、Oldにメッセージ本体をダウンロードしてからNewにメッセージをアップロードするので、通信量が多くなります。自分が保有しているメッセージも量を考えて使用する通信回線を選んでください。出来るだけ大学のネットワークや自宅では光ファイバーなどの通信量が通信料に影響しない回線を使ってください。スマホなどの従量制の回線（Mobile WiFiなど）を使うと、通信料が高額になります。またパケット定額などで、通信量に制約がある回線では上限に到達すると以後の生活に支障が出ます。

Remove Duplicate Message の使い方

Thunderbird で Remove Duplicate Messages というアドオンを使用すると、重複メッセージを整理できます。以下、インストール方法と利用方法について述べます。

1) Thunderbird のメニューの「ツール」から「アドオン」を選択する。

2) 画面右上の検索窓で次に示すように「remove duplicate messages」を入力して、エンターキーを押す。



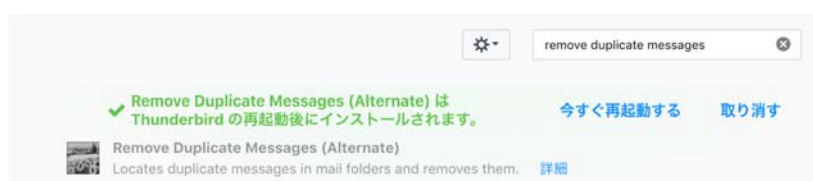
3) 検索結果から「Remove Duplicate Messages (Alternate)」の「+Thunderbird へ追加」をクリックする。



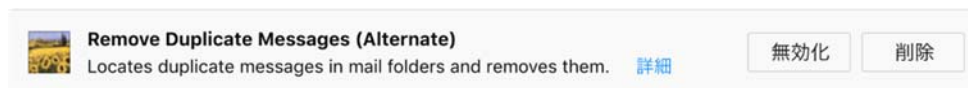
4) 警告が表示されるが、承諾して、「今すぐインストール」をクリックする。



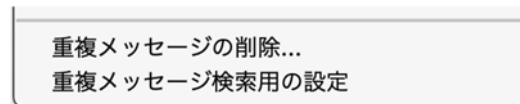
5) アドオンの一覧に次のような表示が出るので、「今すぐ再起動する」をクリックして、Thunderbird を再起動する。



6) これで新しく追加したアドオンを利用できるようになる。



7) Thunderbird の「ツール」に次のようなメニューが表示されるようになるので、「重複メッセージの削除」を実行すると、同じメッセージがあると削除される。



8) メッセージが同じかどうかの判定は、特に指定しないと、差出人、Message ID、送信日時、件名で識別される。この設定を変更する画面は「表示」→「ツールバー」→「カスタマイズ」で項目をツールバーにドラッグして配置しておくことができるようになる。